

# 第2章 気候変動とこれからのビジネス

## 2. 気象変動 と これからのビジネス (1)

IPCC(気候変動に関する政府間パネル)第5次評価報告書

1. 1880年から2012年において世界平均地上温度は0.85°Cの上昇
2. 人間活動で放出された二酸化炭素は大気中のみならず、海の深さ1500mにまで達している。  
海水に二酸化炭素が溶けると**海洋の酸性化**へとつながる
3. 陸地ばかりか海の深層でも海水温が上昇中
4. グリーンランドの氷床は、2~4°Cの気温上昇でも消失する
5. 2013年の夏、北極海の海氷は、1980年代の平均的な面積の**半分以下**になってしまっている
6. 猛暑、豪雨などの**極端現象**の頻度が増大する。



これをビジネスの観点からどのように評価するか？

## 2. 気候変動とこれからのビジネス (2)

### 1. 気象関連ビジネスの拡大【気象情報会社、落雷情報会社】

### 2. 既存ビジネスの拡大展開

- 今まで避雷設備は、建築基準法による**義務的设置**
- 今後は、「積極的な落雷対策」を事業の「**売り**」として展開
- 企業の社会的責任の増大
  
- 鉄道の耐落雷機能の強化 ⇒ 経済問題よりも社会的混乱の防止
- イベント、屋外での集客ビジネス ⇒ お客様の安全第一
- 落雷の損害があれば施設停止 ⇒ 高速道路 ICのETC  
(事業継続への影響すらある) 冷凍倉庫/恒温倉庫  
太陽光発電の保護  
発電所/清掃工場の煙突  
無線設備
- 教育現場での校庭への落雷防止 ⇒ 園児/生徒/学生の安全保護義務

**安全・安心の具現化がビジネスに直結**  
**安全対策が企業の特長の一つになり得る**  
**一事が万事 落雷対策のあるような会社は安心/安全**

## 2. 気候変動に対応した企業の社会的責任の変化 (3)

### 1. きっかけは、落雷事故による主催者への損害賠償訴訟

- 茨木市でのサッカー試合での落雷事故 平成8年 3億円の賠償命令
- 大阪 長居公園 屋外イベントでの落雷事故 2名死亡 2013年

### 2. 屋外イベント主催者、屋外施設の所有者 が落雷事故の重大さを認識

- 2013年 東京ビッグサイト「コミケ」 高所作業車/PDCEによる保護
- 2013年 陸上自衛隊 富士総合火力演習 高所作業車/PDCEによる保護
- 2014年 東京ビッグサイト「コミケ」 高所作業車/PDCEによる保護
- 2014年 陸上自衛隊 富士総合火力演習 PDCE(固定設備)による保護
- 2104年 Rock in JAPAN【ひたち海浜公園】 クレーン車【10台】通常避雷針による保護
- 2014年 大阪城 400年記念コンサート やぐらの上のPDCEによる保護
- 2014年 東京 日本共産党「赤旗まつり」 ステージにPDCE

落雷対策 ⇒ 「お客様の保護」と同時に「BCPの一部」